第4249号 物価号外

其ノ直系卑屬ノ欄ニ記載シタル事項ヲ其ノ所出天皇ニ屬スル簿冊ニ移記スヘシ該直系卑屬ノ妃ノ欄ニ記載シタル事項亦同シ

前項ノ場合ニ於テ直系卑屬タル王女王アルトキ又ハ直系卑屬タル王ニ妃アルトキハ其ノ親王內親王又ハ親王妃トナリタル年月日ヲ登錄シ且事由ヲ附記スヘシ

第二十六條　親王王大統ヲ承ケタル場合ニ於テ其ノ直系卑屬タル女王ニシテ親王妃王妃タル者アルトキハ該妃ノ欄ニ其ノ內親王トナリタル年月日ヲ登錄シ且事由ヲ附記スヘシ

第二十七條　天皇支系ヨリ入テ大統ヲ承ケタル場合ニ於テ其ノ兄弟姉妹タル王女王ニ親王內親王ノ號ヲ宣賜シタルトキハ欄名ヲ親王內親王ト改メ宣賜ノ年月日ヲ登錄スヘシ

女王ニシテ親王妃王妃タル者ニ內親王ノ號ヲ宣賜シタルトキハ該妃ノ欄ニ宣賜ノ年月日ヲ登錄スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ王ニ妃アルトキハ欄名ヲ親王妃ト改メ其ノ親王妃トナリタル年月日ヲ登錄シ且事由ヲ附記スヘシ

第二十八條　皇室典範第九條ノ規定ニ依リ皇位繼承ノ順序ヲ換ヘタルトキハ其ノ年月日ヲ皇嗣タリシ親王王ノ欄ニ登錄シ且事由ヲ附記スヘシ

第二十九條　內親王女王親王王ニ嫁シタルトキハ該內親王女王ノ欄ニ記載シタル事項ヲ其ノ夫タル親王王ノ妃ノ欄ニ移記スヘシ但シ所出天皇同キトキハ欄名ヲ親王妃王妃ト改ムルヲ以テ足ル

第三十條　親王妃王妃離婚ノ場合ニ於テハ其ノ年月日ヲ夫タリシ親王王及該妃ノ欄ニ登錄スヘシ

前項ノ場合ニ於テ妃內親王女王ナルトキハ該妃ノ欄ニ記載シタル婚嫁後ノ事項ヲ該內親王女王ノ舊欄ニ移記スヘシ但シ所出天皇同キトキハ欄名ヲ內親王女王ト改ムルヲ以テ足ル

第三十一條　皇室典範增補第一條又ハ第二條ノ規定ニ依リ王臣籍ニ入リタルトキハ其ノ年月日ヲ該王ノ欄ニ登錄シ且事由及氏名身位ヲ附記スヘシ同第四條第一項ノ規定ニ依リ皇族臣籍ニ降サレタル場合之ニ準ス

第三十二條　皇室典範增補第三條又ハ第四條第二項ノ規定ニ依リ臣籍ニ入リタル皇族アルトキハ其ノ年月日ヲ該皇族ノ欄ニ登錄シ且事由及其ノ入リタル家ノ戶主ノ氏名身位ヲ附記スヘシ皇族身位令第三十四條及皇室親族令第三十二條ノ場合之ニ準ス

第三十三條　內親王女王皇族ニ非サル者ニ嫁シタルトキハ其ノ年月日ヲ該內親王女王ノ欄ニ登錄シ且夫ノ氏名身位ヲ附記スヘシ

皇室典範第四十四條ノ規定ニ依リ內親王女王ノ稱ヲ有セシメタルトキハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第三十四條　皇室親族令第三十三條ノ場合ニ於テハ臣籍ニ入リタル年月日ヲ妃ノ欄ニ登錄シ且事由ヲ附記シ復籍ノ場合ニ於テハ其ノ家ノ戶主ノ氏名身位一家創立又ハ實家再興ノ場合ニ於テハ氏名ヲ附記スヘシ

第三十五條　配偶者アル皇族薨去シタルトキハ其ノ年月日及名ヲ該配偶者ノ欄ニ登錄スヘシ

第三十六條　皇族攝政ニ任シ又ハ攝政ヲ罷メタルトキハ其ノ年月日ヲ該皇族ノ欄ニ登錄スヘシ

第三十七條　皇族失踪ノ宣告ヲ受ケタルトキハ其ノ年月日ヲ該皇族ノ欄ニ登錄スヘシ其ノ宣告ノ取消アリタルトキ亦同シ

第三十八條　皇族譜ヨリ大統譜ニ移記シ又ハ皇族譜中一ノ欄ヨリ他ノ欄ニ移記シタルトキハ其ノ年月日ヲ新欄及舊欄ニ登錄シ且事由ヲ附記スヘシ

第四章　補則

第三十九條　神代ノ大統ハ勅裁ヲ經テ大統譜ノ首部ニ登錄スヘシ

第四十條　前條ニ依ルモノヲ除クノ外從前ノ皇統譜ニ記載シタル事項ハ本令ノ規定ニ準シ勅裁ヲ經テ之ヲ本令ニ依ル皇統譜ニ登錄スヘシ本令ニ依ル登錄事項ニ非ストモ登錄ヲ必要トスルモノ亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ皇族ニ係ル事項ハ所出天皇ヲ異ニスル皇族ト雖其ノ少數ナルモノニ付テハ一簿冊中ニ區分ヲ設ケ之ヲ登錄スルコトヲ妨ケス

第四十一條　光嚴天皇光明天皇崇光天皇後光嚴天皇及後圓融天皇ニ係ル事項ハ勅裁ヲ經テ別ニ簿冊ヲ設ケ大統譜ニ準シテ之ヲ登錄スヘシ

第四十二條　第四十條ノ規定ニ依リ登錄スヘキ簿冊中ノ欄ハ左ノ區別ニ從フ

一　中宮位稱太皇太后稱皇太后贈皇太后及贈皇后ニ係ル事項ハ之ヲ大統譜中皇后ノ欄ニ登錄スヘシ

二　皇族ニ係ル事項ハ皇室典範第三十一條ノ別ニ從ヒ之ヲ各親王內親王王女王ノ欄ニ登錄スヘシ

三　親王ノ號ヲ宣賜セラレタル五世以下ノ皇族ニ係ル事項ハ之ヲ親王ノ欄ニ登錄スヘシ

四　前二號ノ規定ニ依リ登錄スヘキ親王王ノ配偶者ニ係ル事項ハ之ヲ妃ノ欄ニ登錄スヘシ

（參照）

明治二十二年（二月十一日公布）皇室典範抄錄

第九條　皇嗣精神若ハ身體ノ不治ノ重患アリ又ハ重大ノ事故アルトキハ皇族會議及樞密顧問ニ諮詢シ前數條ニ依リ繼承ノ順序ヲ換フルコトヲ得

第三十一條　皇子ヨリ皇玄孫ニ至ルマテハ男ヲ親王女ヲ內親王トシ五世以下ハ男ヲ王女ヲ女王トス

第四十四條　皇族女子ノ臣籍ニ嫁シタル者ハ皇族ノ列ニ在ラス但シ特旨ニ依リ仍內親王女王ノ稱ヲ有セシムルコトアルヘシ

明治四十年（二月十一日公布）皇室典範增補抄錄

第一條　王ハ勅旨又ハ情願ニ依リ家名ヲ賜ヒ華族ニ列セシムルコトアルヘシ

第二條　王ハ勅許ニ依リ華族ノ家督相續人トナリ又ハ家督相續ノ目的ヲ以テ華族ノ養子トナルコトヲ得

第三條　前二條ニ依リ臣籍ニ入リタル者ノ妻直系卑屬及其ノ妻ハ其ノ家ニ入ル但シ他ノ皇族ニ嫁シタル女子及其ノ直系卑屬ハ此ノ限ニ在ラス

第四條　特權ヲ剝奪セラレタル皇族ハ勅旨ニ由リ臣籍ニ降スコトアルヘシ

前項ニ依リ臣籍ニ降サレタル者ノ妻ハ其ノ家ニ入ル

明治四十三年（三月三日公布）皇室令第二號皇族身位令抄錄

第三十四條　臣籍ヨリ入リタル妃其ノ夫ヲ亡

ヒタルトキハ情願ニ依リ勅許ヲ經テ實家ニ復籍スルコトヲ得

明治四十三年（三月三日公布）皇室親族令抄錄

第三十二條　皇族男子ニ嫁シタル皇族女子離婚ノ場合ニ於テ直系卑屬ノ臣籍ニ入リ創立シタル家アルトキハ其ノ家ニ入ル

第三十三條　臣籍ヨリ入リタル妃離婚ノ場合ニ於テハ實家ニ復籍シ其ノ實家ナキトキハ一家ヲ創立ス但シ實家ヲ再興スルコトヲ妨ケス

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ皇室儀制令ヲ裁可シ玆ニ之ヲ公布セシム

御名　御璽

攝政名

大正十五年十月二十一日

宮內大臣　一木喜德郎
內閣總理大臣　若槻禮次郎
陸軍大臣　宇垣一成
海軍大臣　財部彪
外務大臣　男爵　幣原喜重郎
內務大臣　濱口雄幸

皇室令第七號

皇室儀制令

第一章　朝儀

第一條　朝儀ハ他ノ皇室令ニ別段ノ定アルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條　新年朝賀ノ式ハ一月一日及二日宮中ニ於テ之ヲ行フ

第三條　政始ノ式ハ一月四日宮中ニ於テ之ヲ行フ

第四條　新年宴會ハ一月五日紀元節ノ式ハ二月十一日天長節ノ式ハ天皇ノ誕生日ニ相當スル日宮中ニ於テ之ヲ行フ

別ニ天長節祝日ヲ定メタルトキハ天長節ノ式ハ其ノ日之ヲ行フ

第五條　講書始ノ式及歌會始ノ式ハ一月宮中ニ於テ之ヲ行フ

第六條　帝國議會ノ開院式及閉院式ハ貴族院ニ於テ之ヲ行フ

第七條　親任式親授式親補式並信任狀捧呈ノ式及解任狀捧呈ノ式ハ宮中ニ於テ之ヲ行フ

第八條　天皇喪ニ在ルトキハ新年朝賀ノ式新年宴會紀元節ノ式天長節ノ式講書始ノ式及歌會始ノ式ハ之ヲ行ハス攝政喪ニ在ルトキ亦同シ

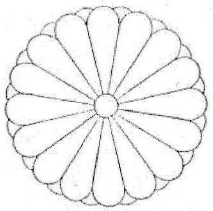
第九條　天皇事故アリ其ノ他已ムコトヲ得サル事由アルトキハ帝國議會ノ開院式及閉院式ヲ除クノ外臨時ノ勅定ニ依リ本章ニ揭クル朝儀ノ全部又ハ一部ヲ行ハサルコトアルヘシ攝政事故アルトキ亦同シ

第十條　本章ニ揭クル朝儀ハ附式ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フ

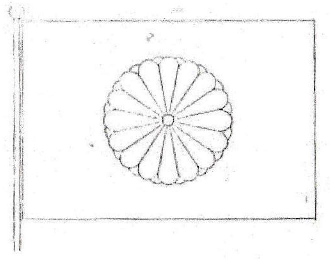
第十一條　本章ニ揭ケサル朝儀ハ臨時ノ勅定ニ依ル

第二章　紋章及旗章

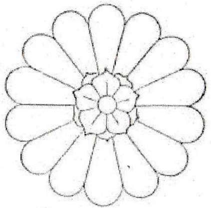
第十二條　天皇太皇太后皇太后皇后皇太子皇太子妃皇太孫皇太孫妃ノ紋章ハ十六葉八重表菊形トシ左ノ樣式ニ依ル



第十四條　天皇旗ハ左ノ樣式ニ依ル



第十三條　親王親王妃內親王王王妃女王ノ紋章ハ十四葉一重裏菊形トシ左ノ樣式ニ依ル



地色	紅
菊章	金
橫	縱ノ一ト二分一
菊心	旗面ノ中心
菊心徑	縱ノ十九分一
菊全徑	縱ノ三分二

「皇室儀制令」（官報 1926.10.21、国立国会図書館）